

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【刈谷市立かりがね小学校】

| | |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ | 【 III・IV 】 |
| 2 実施対象者 | 6年生4学級 144名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育・総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ） |
| 4 目標 (ねらい) | 講師をお招きして、オリンピックやパラリンピックについてさらに関心を高め、学んだり体験したりしながら、共生社会についてともに考えることができる。 |
| 5 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> パラリンピック競技種目について、事前学習を行う。 (ポッチャを取り上げ、映像を活用しながら、関心を高める) 講師の先生をお招きし、パラリンピックについての講演を聴く。(講師：日本福祉大学スポーツ科学部スポーツ科 助教 安藤佳代子氏) |



| | |
|-----------------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> パラリンピック種目（ボッチャ）の体験をする。   |
| <p>6 主な成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを各自で行い、まとめをする。 オリンピックやパラリンピックについての関心はあるが、体験したことがない競技種目はたくさんある。体験したことがない多くの児童が、競技を体験できたことで競技の特性に気付くことができた。 ボッチャに関しては、最後の最後まで勝敗がわからない競技の楽しさに触れ、多くの児童が今後もやりたいし、友達や家族にも説明したいと言っていた。 ルールや競技道具について、どのような競技者でも楽しめる工夫がされていることに多くの児童が気付いた。 多くの児童は、一人で楽しむだけでなく、チームの仲間で気持ちを分かち合えるスポーツのよさを感じていた。 |
| <p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p> | <ul style="list-style-type: none"> 本校には、様々な文化の中で育ってきた児童が多いため、共生社会の実現に向けて、児童が親しみやすいスポーツを活用した。 学校の創立50周年を記念する年とオリンピックイヤーが重なった偶然を活用し、児童のオリンピックへの関心を高めたいと考えた。 |
| <p>8 主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> よい機会であるため、6年生ならば、競技種目1つだけでなく、数種目をこの機会に体験する計画もよいのではないかと感じた。 やはり、児童は体験活動を行うことで、様々な気づきをする。児童の関心や意欲を今後につなげていくためには、十分な体験活動を計画するとよいと感じた。 |
| <p>9 来年度以降の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> 体育の授業や学校行事の中に、パラリンピック競技種目のボッチャを取り入れることで、一人でも多くの児童に興味関心をもたせたい。 |